CG-NVR04C02A1.0A
取扱説明書

Contents

Y613-21890-00 Rev.A

はじめに

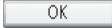
このたびは、「CG-NVR04C02A1.0A」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本商品は必要充分な機能が揃うハイスペックモデルでありながら、大変コストパフォーマンスに優れたHDD内蔵4chスタンドアローンNVRです。

コレガのPoE対応ネットワークカメラシリーズCG-NC034A（俯瞰設置向け）、CG-NC050A（定点設置向け）、CG-NCB0102ACS（CSマウントレンズ対応）と自由に組み合わせることで、複数のカメラを一括管理し、さまざまなシーンで利用できます。

必要充分な機能
・4チャンネル録画に対応
・1TBの大容量HDDで長時間録画
・VGAポート×1搭載でローカル出力に対応
・1000BASE-T対応で高速通信
・USBポート×6搭載で高い自由度
・主要な映像フォーマットMPEG-4/M-JPEG/H.264対応で汎用性に優れる

・VCCIクラスA取得

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。

■表記について

本商品	CG-NVR04C02A1.0A のことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
Windows 8	Microsoft® Windows® 8およびMicrosoft® Windows® 8 Pro
Windows 7	Microsoft® Windows® 7 Starter、 Microsoft® Windows® 7 Home Premium、 Microsoft® Windows® 7 Professional および Microsoft® Windows® 7 Ultimate
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system

※本書では、複数の OS を「Windows 8/7」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

■本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置･接続･設定方法などについて説明しています。本書の構成は次のとおりです。

■第 1 章　初めにお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

■第 2 章　NVR を準備する
この章では、ＮＶＲ の準備の説明をしています

■第 3 章　NVR にアクセスする
この章では、ＮＶＲ へのアクセス方法の説明をしています。

■第 4 章　NVR を設定する
この章では、ＮＶＲ の設定方法の説明をしています。

■付録
仕様一覧
保証と修理について
おことわり

目次

第 1 章
初めにお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

1.1　パッケージの内容を確認する

本商品をお使いになる前に、次のものが付属されていることを確認してください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

□　CG-NVR04C02A1.0A 本体

□　AC アダプタ（1.8m）

□　電源ケーブル（3 極プラグ）

□　安全にお使いいただくためにお読みください

□　製品保証書（1 年）

1.2　各部の名称

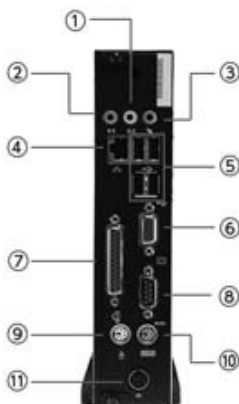
各部の名称と働きを説明します。

■前面

① 電源ボタン：正常に起動すると LED が青く点灯します。

② USB ポート：USB キーボード、USB マウス、USB ストレージ（データエクスポート用）を接続します。

キーボードをご利用の場合は、英語配列でのご利用となります。

■背面部

① Line-out；スピーカを接続します。
② Line-in（ノンサポート）
③ Mic-in（ノンサポート）
④ LAN ポート
⑤ USB ポート：USB キーボード、USB マウス、USB ストレージ（データエクスポート用）を接続します。
⑥ VGA ポート：ディスプレイを接続します。
⑦パラレルポート（ノンサポート）
⑧シリアルポート（ノンサポート）
⑨ PS/2 ポート（マウス）
⑩ PS/2 ポート（キーボード）
⑪ DC ジャック

キーボードをご利用の場合は、英語配列でのご利用となります。

1.3　機能と特長

・4 チャンネル録画に対応

・1TB の大容量 HDD で長時間録画

・VGA ポート ×1 搭載でローカル出力に対応

・1000BASE-T 対応で高速通信

・USB ポート ×6 搭載で高い自由度

・主要な映像フォーマット MPEG-4/M-JPEG/H.264 対応で汎用性に優れる

・日本語対応

・USB ストレージ（ハードディスク・メモリ）でデータのバックアップが可能

本ソフトウェアはお使いのカメラによって対応している機能が違う場合があります。詳しくはコレガホームページの「よくあるお問い合わせ」をご覧ください。

1.4　動作環境

■対応 PC（WEB クライアント用）　以下の環境を満たすパソコン

対応 OS	Windows 8/7（64bit/32bit）/Vista(32bit)/XP(32bit)
CPU	Intel Core i3 プロセッサ以上
メモリ	4GB 以上
ディスプレイ解像度	1920×1080 または 1366×768

■ローカルコンソール

キーボード	PS/2
マウス	PS/2
ディスプレイ	1024×768 以上
対応ストレージ	USB メモリ

■対応ネットワークカメラ

・CG-NC034A

・CG-NC050A

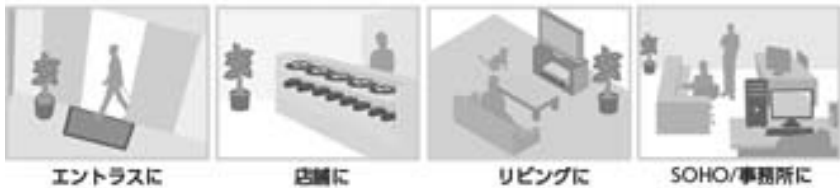
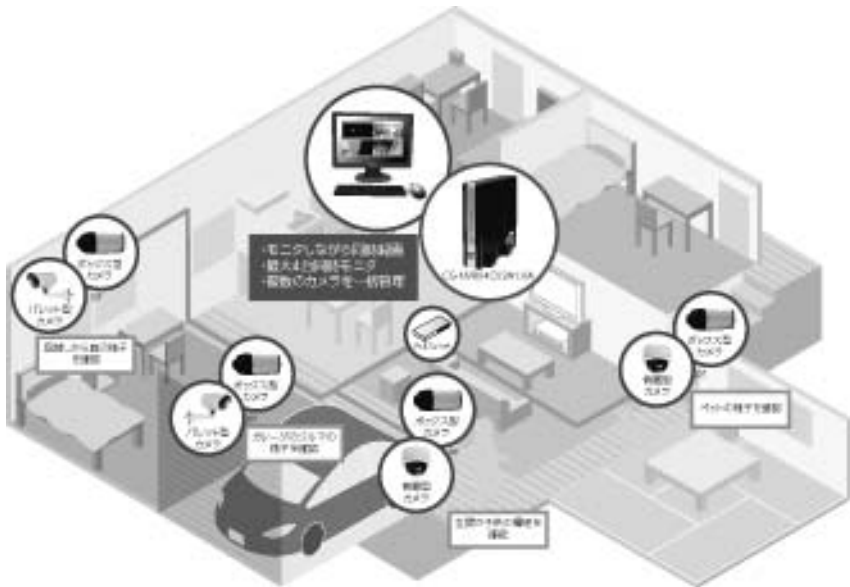
・CG-NCB0102ACS

第２章
NVR を準備する

この章では、本商品を使用する準備の説明をしています。

2.1　ＮＶＲ の機能

本商品は必要充分な機能が揃うハイスペックモデルでありながら、大変コストパフォーマンスに優れた HDD 内蔵 4ch スタンドアローン NVR です。

コレガの PoE 対応ネットワークカメラシリーズ CG-NC034A（俯瞰設置向け）、CG-NC050A（定点設置向け）、CG-NCB0102ACS（CS マウントレンズ対応）と自由に組み合わせることで、複数のカメラを一括管理し、さまざまなシーンで利用できます。

次の図は、カメラを利用した一般的な利用シーンです

コレガの PoE 対応ネットワークカメラシリーズと自由に組み合わせることで、複数のカメラを一括管理し、さまざまなシーンで利用できます。

夜間や暗い部屋をモニタ

天井に設置して俯瞰モニタ

壁面に設置して定点モニタ

愛車を駐車場ごとモニタ

店舗前の迷惑駐車をモニタ

玄関の出入りをモニタ

2.2　NVR の設置

・設置の際は必ず電源を切ってください。AC アダプタを接続したり、PoE スイッチと接続したりしないでください。
・本商品（AC アダプタを含む）を分解、改造しないでください。感電、けが、火災、故障の原因となります。
・設置の前にあらかじめご利用のネットワーク環境を確認いただくようお願いいたします。詳しくは第 3 章をご覧ください。

1　ＬＡＮ ポートに LAN ケーブルを接続します。

必ず LAN ポートに LAN ケーブルが接続されていることを確認してください。初期値は DHCP サーバによる IP アドレスの自動取得です。DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合の初期値は 192.168.1.200、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。

2　ルータにまたはスイッチングハブに､LANケーブルを接続します。

3　ローカルコンソール用のキーボードとマウスを USB ポートか PS/2 ポートに接続します。

キーボードをご利用の場合は、英語配列でのご利用となります。

4　ローカルコンソール用のディスプレイを VGA ポートに接続します。

5　電源を接続します。

6　正面パネルの電源ボタンを押します。

7　起動に約１～２分かかります。起動が完了すると、電源 LED が青色に点灯します。

第３章
NVR にアクセスする

この章では、本商品にアクセスする手順の説明をしています。

3.1　本商品のネットワーク設定手順

本商品の IP アドレスの初期値は DHCP による自動取得になっております。

また、DHCP による取得に失敗した場合には、192.168.1.200 に設定されます。

本商品をご利用環境にあわせて IP アドレスを固定して設定するためには以下の設定を行ってください。

ご利用のルータ (DHCP サーバ) 側で、カメラに割り当てる IP アドレスが解っている場合は、初期値の DHCP による自動取得のままご利用できます。その場合は、本設定は必要ありません。

また、本商品はローカルコンソールから IP アドレスを確認することも出来ます。確認方法は **P.56**「4.2　ローカルコンソールから設定する」をご参照ください

■設定の流れ

3.1：本商品のネットワーク設定手順

↓

3.2：お使いのネットワーク環境を確認する

　現在のネットワークの環境を確認します。この段階で NVR は接続しません。

↓

3.3：設置環境に合わせて設定し、本商品の映像を確認する

　3.2 で確認した内容に基づき NVR の設定を行います

↓

3.4：実際に設置するネットワーク環境に NVR を接続する

3.2　お使いのネットワーク環境を確認する

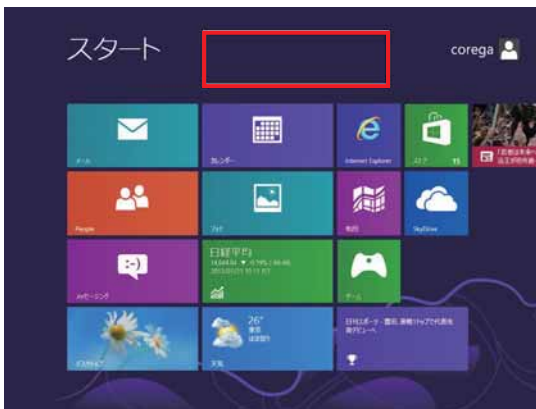
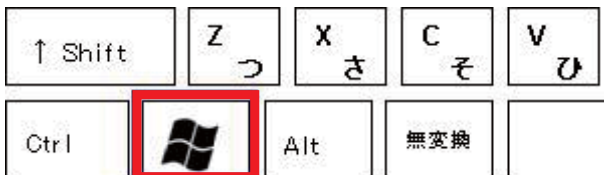
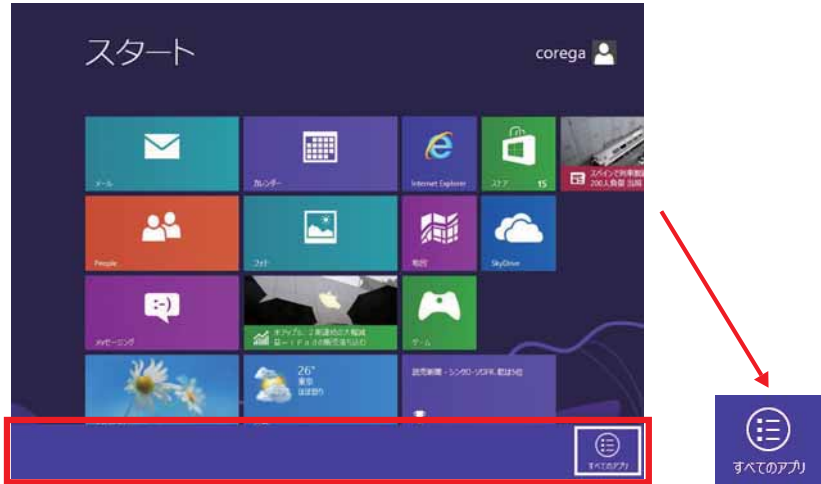
本商品をお使いのネットワークに接続するために、ネットワーク環境（IP アドレスやデフォルトゲートウェイなど）を確認します。ネットワーク環境は次の手順で確認します。インターネットに接続できる等、現在のご利用環境のままで確認してください。（NVR は一切接続しません）

■ Windows の場合

1. コマンドプロンプトを起動します。ご利用の OS により確認方法が異なります。

Windows8 の場合

お使いのネットワークに接続しているパソコンで、

①アイコンがないところで右クリックします。

※ 上記の、【Modern UI】画面で無い場合はキーボードの Windows キーを押して切り替えます

②下から、メニューバーが表示されますので、左右のいずれかの端にある「すべてのアプリ」をクリックします。

③アプリから「コマンド プロンプト」をクリックします。

Windows7/Vista の場合

お使いのネットワークに接続しているパソコンで、［スタート］－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」の順で開き、「コマンドプロンプト」の項目の上で右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。(「ユーザーアカウント制御」画面が出る場合は、［続行］をクリックします)

WindowsXP/2000 の場合

お使いのネットワークに接続しているパソコンで、[スタート] −「すべてのプログラム」(2000 の場合は「プログラム」) −「アクセサリ」−「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

コマンドプロンプトが表示されましたら、以下に進んでください。以降は各 OS 共通です。

2. 黒いコマンドプロンプト画面が表示されましたら、

コマンドプロンプト上で、キーボードから「ipconfig /all」と入力して「Enter」キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:¥>ipconfig
```

3. 内容を確認します。画面例の場合のネットワーク環境は次のとおりです。

本書では Windows8/Windows7/　Vista　の画面を例に説明していますが、Windows XP/2000 でも同様の手順で確認できます。

```
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

   接続固有の DNS サフィックス . . . :
   説明. . . . . . . . . . . . . . . : Intel(R) 82566DC Gigabit Network Connecti
on
   物理アドレス. . . . . . . . . . . : 00-19-D1-7E-F1-C1
   DHCP 有効 . . . . . . . . . . . . : いいえ
   自動構成有効. . . . . . . . . . . : はい
   IPv4 アドレス . . . . . . . . . . :  192.168.0.3(優先)
   サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.255.0
   デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.0.1
   DNS サーバー. . . . . . . . . . . : 192.168.0.1
   NetBIOS over TCP/IP . . . . . . . : 有効
```

以下の内容を確認し、メモに控えます。

確認する項目	※XP/2000 の場合	確認したアドレス
IPv4 アドレス	IP Address	.　.　.
サブネットマスク	Subnet Mask	.　.　.
デフォルトゲートウェイ	Default Gateway	.　.　.
DNS サーバー	DNS Servers	.　.　.

詳細については各 OS のヘルプや取扱説明書をご覧ください。

■ MacOS10.7 の場合

1.「アップルメニュー」⇒「システム環境設定」⇒「ネットワーク」をクリックします。
2. 左側のメニューから「Ethernet」を選択します。

3. 以下の内容を確認し、メモに控えます。

確認する項目	確認したアドレス
IPv4 アドレス	.　.　.
サブネットマスク	.　.　.
ルーター	.　.　.
DNS サーバー	.　.　.

詳細については各 OS のヘルプや取扱説明書をご覧ください。

3.3　設置環境に合わせて設定し、本商品を確認する

■パソコン側の IP アドレスを固定する

設定に使用するパソコンの IP アドレスを一時的に固定します。

<設定例>

IP アドレス：192.168.1.123

サブネットマスク：255.255.255.0

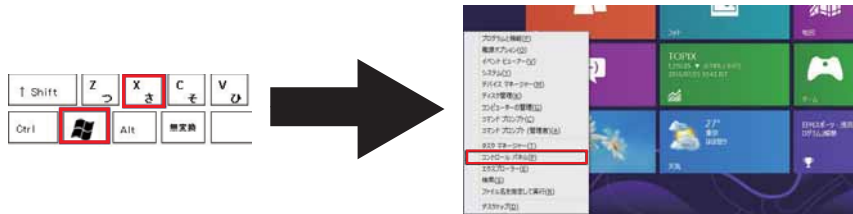
上記の内容に固定します。

IP アドレスの固定方法は、各 OS の取扱説明書をご参照いただくか、下記の IP アドレス固定方法の内容を参照していただき設定を行ってください。

■ IP アドレスの固定方法

Windows8 の場合

1.【Modern UI】画面で「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロール パネル」をクリックします。

※【Modern UI】画面で無い場合はキーボードの Windows キーを押して切り替えます。

2. コントロール パネルが表示されます。「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

※ 表示方法がアイコンの場合は「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. ネットワークと共有センターが表示されます。「アダプターの設定の変更」をクリックします。

4. ネットワーク接続が表示されます。「イーサネット」のアイコンを選択して右クリックし、表示された一覧から「プロパティ」をクリックします。

5.「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」の項目をクリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

6.　以下「Windows 7/Vista の場合」の手順 5 からの手順と同様です。

Windows 7/Vista の場合

1.「スタート」→「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークの状態とタスクの表示」を開いてください。（又は「ネットワークと共有センター」）

2. 画面左側の「アダプターの設定の変更」(Vista の場合は「ネットワーク接続の管理」) をクリックしてください。

3.「ローカルエリア接続」を右クリックし「プロパティ」を開いてください。

4.「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」の項目をクリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

5. ここで以下の内容を控えてください。（設定を元に戻す時に使用します)

・チェックが「IP アドレスを自動的に取得する」「次の IP アドレスを使う」「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」「次の DNS サーバのアドレスを使う」のどれについているか

・「次の IP アドレスを使う」にチェックがついている場合は IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値。

・「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックがついている場合は優先 DNS サーバ、代替 DNS サーバの値。

6.「次の IP アドレスを使う」と「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックを入れ、次のように入力をしてください。

IP アドレス 192.168.1.123

サブネットマスク 255.255.255.0

7.「OK」→「閉じる」で設定終了です。

※ 設定を元に戻す場合は同じ手順で手順 5 に控えた内容を設定します。

Windows XP/2000 の場合

1.「スタート」→「コントロールパネル」を開きます。　(2000 の場合は「スタート」→「設定」→「コントロールパネル)

2.「コントロールパネル」から「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」を開きます。(2000 場合は「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックで開きます。)

3.「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

4.「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、青く反転表示させてから「プロパティ」をクリックします。

5. ここで以下内容を控えてください。（設定を元に戻す時に使用します)

・チェックが「IP アドレスを自動的に取得する」「次の IP アドレスを使う」「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」「次の DNS サーバのアドレスを使う」のどれについているか

・「次の IP アドレスを使う」にチェックがついている場合は IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値。

・「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックがついている場合は優先 DNS サーバ、代替 DNS サーバの値。

6.「次の IP アドレスを使う」と「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックを入れ、次のように入力をしてください。

IP アドレス 192.168.1.123

サブネットマスク 255.255.255.0

7.「OK」→「閉じる」で設定終了です。

※ 設定を元に戻す場合は同じ手順で手順 5 に控えた内容を設定します。

Mac OS X 10.7 の場合

1.「アップルメニュー」⇒「システム環境設定」⇒「ネットワーク」をクリックします。

2. 左側のメニューから「Ethernet」を選択します。

2. ここで以下内容を控えてください。（設定を元に戻す時に使用します)

・IPv4 の構成が「手入力」「DHCP サーバ参照」のいずれであるか

・「手入力」の場合は IP アドレス、サブネットマスク、ルータ、DNS サーバの値

4.IPv4 の構成で「手入力」を選択し、以下数値を設定します。

IP アドレス 192.168.1.123

サブネットマスク 255.255.255.0

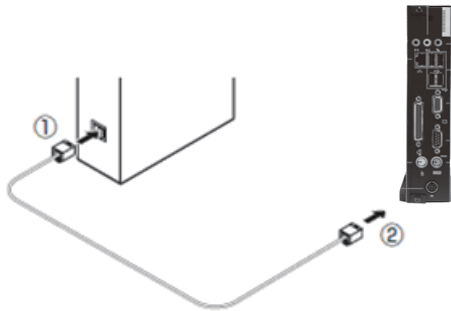
5. 画面下の適用のボタンを押します。

※ 設定を元に戻す場合は同じ手順で手順 3 に控えた内容を設定します。

■ NVR の設定を行う

設定に使用するパソコンを用意し、NVR と直接 LAN ケーブルで接続し設定を行います。

1.LAN ケーブルを接続します。

付属の LAN ケーブルの両端のコネクタの一方を①パソコンに接続し、もう一方を②本商品背面の LAN ポート (Ethernet) に接続します。

2. パソコンとカメラの電源を入れます。

3. ブラウザを開き（Windows の場合はインターネットエクスプローラ、MacOS の場合は Safari）アドレスバーに 192.168.1.200 を入力し [Enter] キー (又は [Return] キー) を押します。

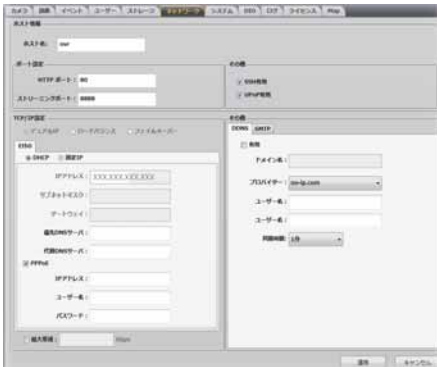
4. ログインウィンドウが表示されたら、デフォルトのユーザー名（admin）とパスワード（1234）を入力して、[確定] を押します。

・最初に NVR にアクセスした際には NVR のプラグインのインストールが要求される場合があります。画面が表示された場合には [はい] [OK] などをクリックしてインストールを実施してください。(表示される画面はご利用の OS により異なります)

・画面が表示されない場合はインターネットエクスプローラを以下の手順で変更してください。

・ツール→インターネットオプション→セキュリティ→ ” 信頼済みサイト” をクリック→” サイト” をクリック→NVR の IP アドレスを追加→ ” このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:) を必要とする ” のチェックを外します。

ライブビュー画面が表示されることを確認してください。（カメラはまだ未登録なので、映像は表示されません。）

5. システム→ネットワークの順にクリックし、固定 IP にチェックを入れて、「お使いのネットワーク環境を確認する」で確認した内容を反映し、設定を行います。・

IP：確認した「IPv4 アドレス (IP アドレス・IP Address)」の値から、４オクテット目 (IP アドレスの４つ目) を他で使用されていない数字に変更して設定します。

・サブネットマスク：確認した「サブネットマスク (Subnet Mask)」の値を設定します。

･デフォルトゲートウエイ: 確認した｢デフォルトゲートウエイ(Default Gateway･ルーター)｣の値を設定します。

・プライマリ DNS：確認した「DNS サーバ (DNS Servers)」の値を設定します。

・セカンダリ DNS：空欄のままにします。

[設定例]

確認した内容が以下の場合

IPv4 アドレス：192.168.1.21

サブネットマスク：255.255.255.0

デフォルトゲートウエイ：192.168.1.1

DNS サーバ：192.168.1.1

本商品の設定内容は以下のように設定してください。

IP：192.168.1.245

サブネットマスク：255.255.255.0

デフォルトゲートウエイ：192.168.1.1

DNS：192.168.1.1

セカンダリ DNS：空欄

設定完了後、画面下部の「適用」ボタンを押してください。

本設定例では IP の 4 オクテット目を「245」にしています。本商品を複数台お使いになる場合は、2 台目以降の本商品には「246」､「247」… のように重複しない数値を設定してください。実際のご利用環境に合わせて同一ネットワーク内で絶対に重複しない番号に設定してください。

■パソコンの IP アドレスを元に戻す

3-2 の「■パソコン側の IP アドレスを固定する」手順を参照していただき、設定に使用したパソコンの IP アドレスを元の値に戻してください。

3.4　WEB ブラウザからアクセスする

Internet Explorer を開いて本製品の IP アドレスを入力します。

（ポート番号を変更している場合は「http://(IP アドレス)：（ポート番号)」を入力します。）

ログイン画面が表示されたらユーザー名とパスワードを入力します。

・最初に NVR にアクセスした際には NVR のプラグインのインストールが要求される場合があります。画面が表示された場合には [はい] [OK] などをクリックしてインストールを実施してください。（表示される画面はご利用の OS により異なります）

・画面が表示されない場合はインターネットエクスプローラを以下の手順で変更してください。

・ツール→インターネットオプション→セキュリティ→ ” 信頼済みサイト” をクリック→ ” サイト” をクリック→ NVR の IP アドレスを追加→ ” このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:) を必要とする ” のチェックを外します。

NVR にネットワークからアクセスすると、NVR の設定とネットワークカメラの録画と再生をすることができます。

はじめにカメラの登録をします。

■システム

○カメラ設定画面

自動検索か手動の 2 つの方法でカメラリストに追加することができます

カメラ リスト

ID	有効	カメラ名	IPアドレス	ポート	CH ID	メーカー	型番
1	☑	111	172.16.0.33	80	1	IPUX	ICS7522
2	☑	Camera02	172.16.0.29	80	1	IPUX	ICS7522
3	☑	Camera03	172.16.0.37	80	1	IPUX	ICL5122
4	☑	Camera04	172.16.0.41	80	1	IPUX	ICL5122

○カメラ自動検索

・1. カメラの自動検索ボタンを押します。

・2. 検索ボタンを押すと現在使用可能なすべてのカメラが表示されます。

・3. 登録したいカメラのチェックボックスをチェックします。

・4. 登録したいカメラのチャネル ID を選択します。

・5. 設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

・6. カメラリストから利用するカメラをクリックします。

・7. 管理者アカウントとパスワードを入力します

・8. 設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

○カメラの手動追加

・1. カメラリストから追加したいカメラ ID を選択してクリックします。

・2. カメラ名を入力します。

・4. [デバイス] 列に IP アドレスとポート番号を入力します。

・5. ユーザ名とパスワードを入力します。

・6. ネットワークカメラのベンダーとモデル名を選択するか [自動的に取得する] ボタンを押して検出します。

・7. 設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

○イメージ

[イメージ] タブをクリックし、カメラ画像の以下の項目をスライドバーで調整することができます。

1. 明るさ：
2. コントラスト：
3. 色合い：
4. 彩度：
5. シャープ：

・以下の機能はサポート対象外です。
コントラスト
色合い

変更を保存する場合は [送信] ボタンをクリックします。

初期値に戻すには [デフォルト] ボタンをクリックします。

変更を取り消す場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。

設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

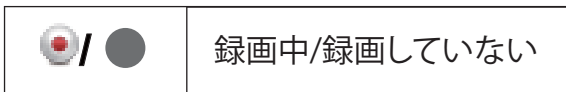
■ライブビュー

■カメラビュー

カメラビューウィンドウには、カメラ名のバーとそのライブ映像が表示されます。

NVR は全画面、４分割、９分割、12 分割、16 分割、64 分割表示モード等の様々な表示をすることができます。

カメラ名のバーにはカメラ名、現在の日付 / 時刻、モーションアラームや録画状態が表示されます。

	録画中/録画していない

カメラのタイトルボックスとカメラビューウィンドウの枠は白で表示されます。フォーカスするとオレンジ色に変わります。

指定したグリッドの上でマウスの左ボタンをダブルクリックすると、サイズが小さくなります。右ボタンをダブルクリックすると拡大します。

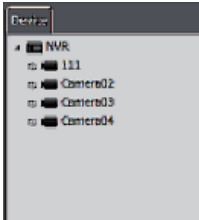
通常の場合各ネットワークカメラのライブビューが表示されますが、異常が発生すると次の画像が表示されます。

■パン / チルトパネル

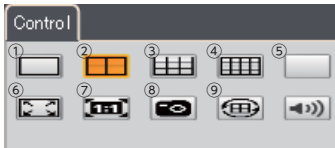
・本機能はサポート対象外となります。

■デバイスパネル

デバイスパネルは、本製品に接続されたすべてのデバイスが表示されます。

異常があると赤いアイコンで表示されます。

■コントロールパネル

コントロールパネルは画面表示の分割を変更したり、カメラ表示を自動で切り替えたりします。

⑤

①1画面モード
②4分割モード
③9分割モード
④16分割モード
⑤以下の画面モードを選択します。
　(5x5, 6x6, 7x7, 8x8, 1+2, 1+3, 1+5, 1+7 , 1+12)
⑥フルスクリーンモード
⑦元のアスペクト比でビデオを表示します。
⑧スナップショットを撮影します
⑨カメラを自動で切り替えます。
　(デフォルトでは10秒ごと　最大30秒ごと)

■デジタルルーペ

デジタルルーペを使用すると、ビデオ画面の一部をズームして、表示を拡大することができます。

マウスの左クリックで範囲をドラッグすると範囲内を拡大します。右クリックで終了します。

■情報パネル

右下のモニタには日時、時間、メモリとＨＤＤの使用量と空き容量を表示します

■地図

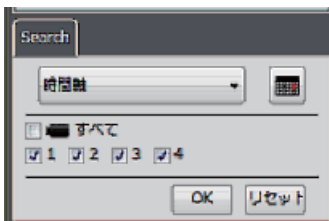
地図画面では、本製品やネットワークカメラをどこに設置しているかを視覚的に管理することができます。

eMAP パネルには、接続されたすべての NVR とネットワークが表示されます

■再生

録画した映像を確認することが出来ます。

〇検索パネル

以下の検索方法があります。

・時間軸

　ドロップダウンメニューから選択します。

　赤いバーをドラッグするか、時間表示の右側にある左右の矢印を

　クリックすることで時間を選択します。

　マイナスとプラスのアイコンで時間帯のズームインとズームアウトを

　することができます。

・日付

　カレンダーボタンから日付を選択します

・ネットワークカメラ

　カメラから選択します

選択したら、OK ボタンを押して検索を開始します

■システム

システムでは、カメラ、ネットワーク設定、ファームウェアの更新等を行うことができます。詳細は第４章の **P.45** 「4.1　WEB ブラウザから設定する」をご確認ください。

■録画の再生

①以下の速度で逆再生します。

　×1、×2、×4、×8、×16

②１フレーム分巻き戻します

③録画ファイルを巻き戻します

④録画ファイルを一時停止します

⑤録画ファイルを再生します

⑥１フレーム分早送りします

⑦以下の速度で再生します。

　×1、×2、×4、×8、×16

■ LED panel

このパネルは日付、時間、再生の状態を表します

3.5　ローカルコンソールからアクセスする

NVR にモニター、キーボード、マウスを接続してアクセスします。

本商品のハードディスク内のデータのバックアップはローカルコンソールからのみ実施できます

■ログイン画面

ローカルコンソールは、初期設定では自動でログインします。

ユーザー名とパスワードを入力して、ログインボタンを押してログインします。

シャットダウンする場合は、[キャンセルボタンを押して " 自動ログイン " を無効にしてから、[シャットダウン] を押します。

（注：ユーザー名の初期値は「admin」、パスワードの初期値は「1234」です。）

■メインタスクバー

①ログアウトボタン：システムからログアウトし、ログイン画面に戻ります。

②録画を再生します

③セットアップ：設定画面に移動します。

④スナップショットを撮影します。

⑤カメラの映像を自動で切り替えます

⑥ 1 画面モードを選択します

⑦ 4 分割モードを選択します

⑧パン / チルトパネルへ移動します

⑨ NVR の IP アドレス

⑩ NVR のユーザー名

⑪日付、時刻

⑫ハードディスクの状態

■パン / チルト パネル

・本機能はサポート対象外となります。

■設定画面

設定画面では、カメラ、ネットワーク、システムの設定を行うことができます。

詳細は第４章の **P.56**「4.2　ローカルコンソールから設定する」をご確認ください。

■再生タスクバー

本製品で録画したビデオを再生します。

メインタスクバーから再生ボタンを押します。

再生タスクバーは、再生画面の下側にあります。操作をするためのボタンが用意されています。

・ライブビュー画面に戻ります

・タイムラインやモーション検知を利用して映像を検索します。

・タイムラインを使用して、ある一定の時間の録画を抽出します。

本商品のハードディスクから USB ストレージ (メモリ、HDD）へのエクスポート（バックアップ）はここから実施します。

・光学デバイスへのエクスポートはサポート対象外となります。

・スナップショットを撮影します。

・カメラからの音声を再生します。

・ボリュームバーを操作して音量を調節します。

・ミュートボタンを押すとミュートモードになります。

・１画面モードを選択します

・４分割モードを選択します

・９分割モードを選択します

・16 分割モードを選択します

・以下の情報を表示します

再生時間

日付 / 時間

HDD の状態

■映像の検索

本製品に録画した映像を以下の方法で検索をすることができます。

タイムラインサーチ

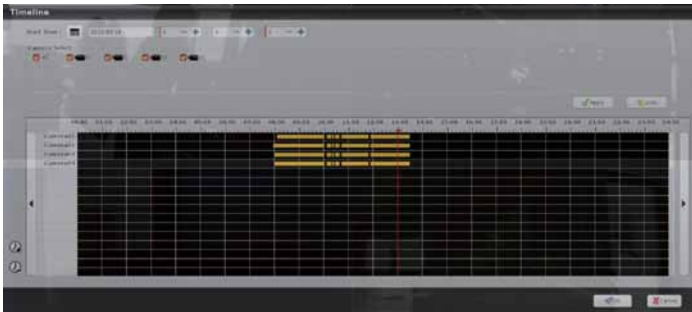
イベントサーチ

モーションサーチ

・イベントサーチ、モーションサーチはサポート対象外となります。

検索ボタンをクリックします

ポップアップメニューから [タイムラインサーチ] を選択し、OK を押します

カレンダーボタンのアイコンをクリックし、日付を選択します。

赤いバーをドラッグするか、時間帯表示の右側にある左右の矢印をクリックして時間を選択します。

マイナスとプラスのアイコンで内と時間帯表示のスケールを拡大または縮小することができます。

1 つ、もしくはすべてのカメラを選択し、[OK] をクリックし、検索を開始します。
検索後、以下のようにビデオを再生することができます

・以下の速度で逆再生します。
　×1、×2、×4、×8、×16
・1 フレーム分巻き戻します
・録画ファイルを巻き戻します。
・再生しているファイルを一時停止します。
・録画ファイルを再生します。
・1 フレーム分早送りします
・以下の速度で再生します。
　×1、×2、×4、×8、×1

■モーションサーチ

モーション検知エリアを描画する際に、検索領域内の動きを検出したクリップを検索することができます。

マウスの左クリックでエリアをドラッグしてモーション検知エリアを設定します。マウスを右クリックすると設定した領域をクリアします。

再生アイコンをクリックすると次のクリップを検索します

■システム設定画面

システム設定画面では、カメラ、ネットワーク、システムの設定を行うことができます。

詳細は第 4 章の P.56 「4.2　ローカルコンソールから設定する」をご確認ください。

第４章
ＮＶＲを設定する

この章では、ＮＶＲの設定方法について説明しています。

4.1　WEB ブラウザから設定する

Web ブラウザを使用して NVR にアクセスして設定をすることができます。

■システム

以下の設定を行うことができます。

- カメラ
- 録画
- イベント
- ユーザー
- ストレージ
- ネットワーク
- システム
- ログ
- ライセンス
- MAP

・以下の機能はサポート対象外です。
イベント
ログ
ライセンス

○カメラ設定画面

自動検索か手動の 2 つの方法でカメラリストに追加することができます

カメラ リスト

ID	有効	カメラ名	IPアドレス	ポート	CH ID	メーカー	型番
1	☑	111	172.16.0.33	80	1	IPUX	ICS7522
2	☑	Camera02	172.16.0.29	80	1	IPUX	ICS7522
3	☑	Camera03	172.16.0.37	80	1	IPUX	ICL5122
4	☑	Camera04	172.16.0.41	80	1	IPUX	ICL5122

○カメラ自動検索

1. カメラの自動検索ボタンを押します。

2. 検索ボタンを押すと現在使用可能なすべてのカメラが表示されます。

3. 登録したいカメラのチェックボックスをチェックします。

4. 登録したいカメラのチャネル ID を選択します。

5. 設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

6. カメラリストから利用するカメラをクリックします。

7. 管理者アカウントとパスワードを入力します

8. 設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

○カメラの手動追加

1. カメラリストから追加したいカメラ ID を選択してクリックします。

2. カメラ名を入力します。

4. [デバイス] 列に IP アドレスとポート番号を入力します。

5. ユーザ名とパスワードを入力します。

6. ネットワークカメラのベンダーとモデル名を選択するか [自動的に取得する] ボタンを押して検出します。

7. 設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

○イメージ

[イメージ] タブをクリックし、カメラ画像の以下の項目をスライドバーで調整することができます。

1. 明るさ：

2. コントラスト：

3. 色合い：

4. 彩度：

5. シャープ：

・以下の機能はサポート対象外です。

コントラスト

色合い

変更を保存する場合は [送信] ボタンをクリックします。

初期値に戻すには [デフォルト] ボタンをクリックします。

変更を取り消す場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。

設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

○録画

[録画] ページでは、記録したい日、時間、およびタイプに基づいてそれぞれの記録スケジュールを作成することができます。

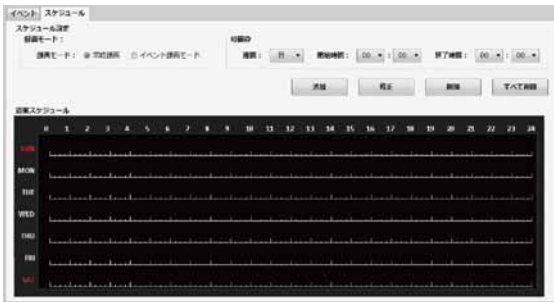
・1. 録画するカメラを選択します

・2.[カメラにコピー] の他のカメラのチェックボックスに現在のカメラを選択します。

・3.[常に]、[イベント]、[スケジュール]、[録画しない] から選択します。

・4. 録画したデータの保存期間を設定します。AUTO に設定すると記録データをリサイクルするまで削除はされません

○スケジュール録画

曜日 / 時間枠を指定してから左マウスボタンをクリックし、[週間スケジュール] 領域の上に赤い長方形をドラッグします。

・時間枠内に青色のバーを埋め、[追加] ボタンをクリックします。

・任意の青いバー（青色のバーが黄色の境界線で表示されます）をクリックし、[変更] ボタンをクリックすると、新しいスケジュール時間に変わります。

・スケジュールを削除するには、任意の青いバー（青色のバーが黄色の境界線で表示されます）をクリックし [削除] ボタンをクリックします。

・すべてのスケジュールを削除するには、[Delete All] ボタンをクリックします。

設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

○ユーザー

ユーザー設定は、個々のユーザーのアクセス権を設定します。

４種類のユーザーアカウントをサポートしています。

・１．Admin：管理者アカウントは「admin」です。（パスワード初期値：1234）ライブビュー、再生、設定の権利を持っています。管理者アカウントを削除することはできません。スーパーユーザー、一般ユーザーとゲストユーザーの作成および削除とパスワードを変更する権限を持っています。

・2. 管理者：admin と同じ権限を付与することができます。

・3. ユーザー：ユーザーは、ライブビュー、再生、パスワードの変更とビュー画面の設定を変更することができます。管理権限はありません。

・4. ゲスト：ゲストは、パスワード変更の権利を除いて、通常のユーザーと同じ権限があります。

○ユーザーを追加する

アカウント情報

ユーザー名：

パスワード：

パスワード（確認）：

権限：　Admin　管理者　ユーザー　ゲスト

ログイン中：　有効

最大閑置時間：　秒

・1.[追加] ボタンをクリックします

・2. ユーザー名、パスワード、確認用パスワードを入力し、ユーザータイプ（システム管理者、パワーユーザー、一般ユーザーまたはゲストユーザ）を選択します。

・3.（このアカウントを有効にするには、このチェックボックスをオンに）有効にし、アイドル状態のクライアントのタイムアウト時間を設定します。

3. ユーザーがアクセス権を持っているチャンネルを選択します。

4. ライブビュー、再生、エクスポート、バックアップ、PTZ コントロール、DI は / DO 制御、パスワードの変更、E マップ？アクセス、指定したチャネルのビュー / 変更セットアップを含む指定されたチャネルのアクセス権を指定します。

5. 設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

○ユーザーの変更

1. アカウントリストからユーザーを選択します。

2. [変更] ボタンをクリックします。

3. アカウント情報の設定を変更します。

4. 設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

○ユーザーの削除

1. アカウントリストからユーザーを選択します。

2. [削除] ボタンをクリックします。

3. 設定を適用する場合は [適用] ボタンを押します。キャンセルする場合は [キャンセル] ボタンを押します。

○ネットワーク

ネットワーク設定ページ

LAN やインターネットに NVR を接続するには、以下を行う必要があります。

・ポートストリーミング、NVR ホスト名、HTTP ポート（デフォルトは 80）を入力します（デフォルトは 8888 です）

・（リモートメンテナンスを目的として）SSH を有効にします。

・DHCP IP 設定：IP アドレスを取得し、ネットマスク、ゲートウェイ、プライマリ DNS Sever を、DHCP サーバ (IP アドレスとネットマスクを経由して自動的にセカンダリ DNS サーバは 192.168.1.201、255.255 のために 192.168.1.200、255.255.255.0 にデフォルト設定されます。

・固定 IP 設定：[設定] の IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、プライマリ DNS 断絶し、手動でセカンダリ DNS サーバ。

・最大送信帯域幅を指定します。

・DDNS（ダイナミックドメインネームサーバ）を使用すると、動的 IP アドレスを使用して NVR を接続することができます。http://www.no-ip.com/services/managed_dns/free_dynamic_dns.html を参照し、アカウントを登録した後に利用することができます。

・[User Name] フィールドにアカウントを入力します

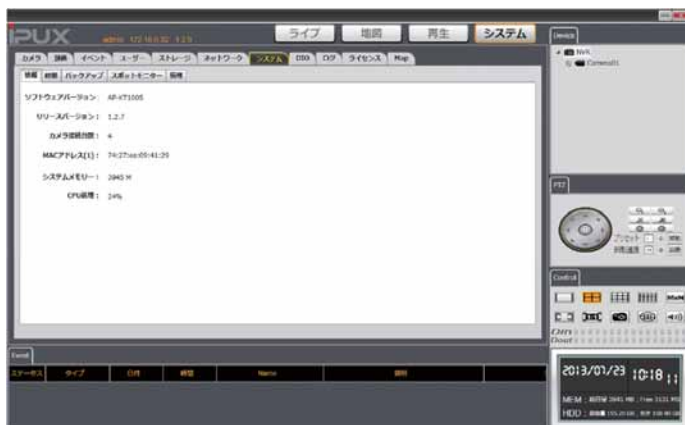
・ユーザパスワード] フィールドにパスワードを入力します。

・IP / DDNS の同期のためのセットアップ区間に同期期間を選択します。

・ドメイン名フィールドは正常に接続したときに割り当てた DDNS 名を返します。

○システム

システムセットアップページは、システム情報を表示する時間帯 / システム時間、バックアップデータを変更し、ローカルコンソールおよびシステムメンテナンスを制御することができます。

情報

[情報] タブには、次の項目が表示されます。

・ソフトウェアバージョン

・リリースバージョン

・カメラ接続台数

・MAC アドレス

・システムメモリ

・CPU 処理

○タイムゾーン / システム時刻を変更する

・ドロップダウンメニューから、現在のタイムゾーンを選択します。

・カレンダーから現在の年、月、日を指定します。

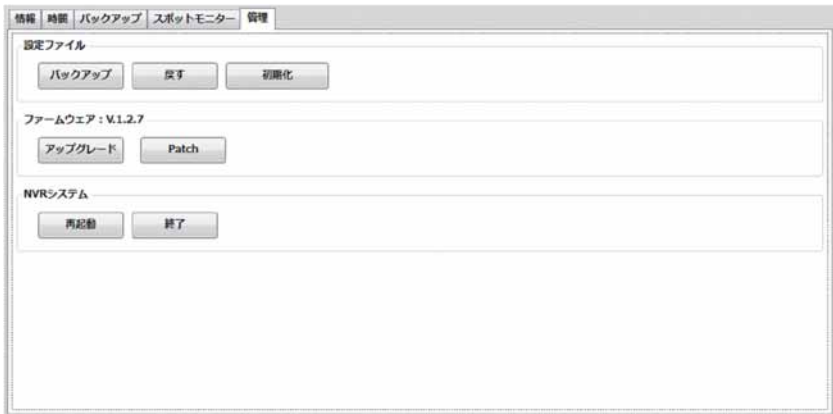
・現在の時刻を指定して、[適用] ボタンをクリックします。

・インターネットの NTP タイムサーバーと同期を選択します。

・タイムサーバ 1 で IP アドレスまたは NTP サーバーのドメイン名を入力してください。

・時刻の同期ログを取得するために、ログのボタンをクリックします。

・変更を適用するか、変更をキャンセルするには [キャンセル] ボタンをクリックし [適用] ボタンをクリックします。

○バックアップ

・バックアップ

1. バックアップボタンをクリックします。
2. バックアップファイルの保存先を選択します。
3.OK ボタンをクリックしてファイルを保存します。

・復元

1. 復元ボタンをクリックします。
2. バックアップファイルを参照します。
3. バックアップファイルを選択して [OK] ボタンをクリックします。
4. ファイルを復元後、製品は自動的に再起動します。

・初期化

1. 初期化ボタンをクリックします。
2. 確認画面がポップアップ表示されます。
3. 初期化を実行する場合は [OK] をクリックします。
4. 実行後、製品は自動的に再起動します。

・ファームウェア更新

1. ファームウェアファイルを選択します。
2. [OK] をクリックします。
3. 確認画面がポップアップ表示されます。
4.[OK] をクリックしてアップデートを開始します。
5. アップグレード後、製品は自動的に再起動します。

○ストレージ

ストレージへのバックアップと復元を行います。

・光学ドライブでのバックアップと復元はサポート対象外です。

○ MAP

地図ファイルにカメラと本商品の位置を設定することができます。

4.2　ローカルコンソールから設定する

セットアップにはカメラ、ネットワーク、システム管理をするための 3 つのサブメニューが含まれています。

■カメラ

・メインタスクバーのセットアップボタンをクリックします。

・NVR ストリーム 1 のドロップダウンメニューからストリームプロファイルを選択します。

・以下の設定を変更することができます。

・ビデオコーデック（H.264、MPEG-4、M-JPEG）

・解像度

・フレームレート

・ビットレート / 品質設定

・変更した設定を保存するには、[送信] ボタンをクリックしてください。

・注意：変更可能な値は、カメラによって異なります。

・変更を適用する場合は [適用] ボタンをクリックします。変更をキャンセル場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。

・NVR ストリーム 2 の設定を変更する場合はドロップボックスから NVR ストリーム 2 を選択して設定を変更してください。

・NVR ストリーム 1 と 2 はサポート対象外です。

■カメラ画像の設定

カメラ画像の画質を変更するには次のスライダを調整します。

・スライドバーを調節して以下の項目を調整することができます。

・・明るさ：

・・コントラスト：

・・彩度：

・・色合い：

・・シャープネス：

・変更を保存する場合は [送信] ボタンをクリックします。

・ネットワークカメラの初期値に戻す場合は [デフォルト] ボタンをクリックします。

・以下の項目はサポート対象外です。

コントラスト

彩度

色合い

・変更を破棄したり、前のページに戻る場合は [リセット] ボタンをクリックしてください。

・変更を適用する場合は [適用] ボタンを、変更をキャンセルする場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。

■ネットワーク設定

NVR を使用するにはネットワークの設定が必要です。

以下を入力します。

・以下の設定はサポート対象外です。

ストリーミングポート

SMTP

最大帯域

イベント設定

・ホスト名：

・HTTP ポート（初期値：80）：

・リモートメンテナンスを利用する場合はSSHのチェックボックスを有効にします。

ネットワークの設定をするには以下のいずれかを選択します。

A.DHCP：IP アドレスを DHCP サーバから取得します。

B. 固定 IP：IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先 DNS サーバ、代替 DNS サーバを手動で入力します。

・DDNS（ダイナミックドメインネームサーバ）を使用する場合はアカウントを入力します。

・ドメイン名を入力します。

・サービスを下記のいずれかから選択します。

no-ip.com

DynDNS.com

・ユーザー名とパスワードを入力します。

変更を適用する場合は [適用] ボタンを、変更をキャンセルする場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

■システム管理

システム管理では以下の設定を行うことができます。

・設定のバックアップ / 復元

・初期化

・ファームウェアアップデート

・再起動

・シャットダウン

・HDD の録画データの削除

・言語の設定

○設定のバックアップ / 復元

・バックアップ

バックアップボタンをクリックします。

バックアップファイルの保存先を選択します。

OK ボタンをクリックしてファイルを保存します。

・復元

復元ボタンをクリックします。

バックアップファイルを参照します。

バックアップファイルを選択して [OK] ボタンをクリックします。

ファイルを復元後、製品は自動的に再起動します。

・初期化

初期化ボタンをクリックします。

確認画面がポップアップ表示されます。

初期化を実行する場合は [OK] をクリックします。

実行後、製品は自動的に再起動します。

・ファームウェア更新

ファームウェアファイルを選択します。

[OK] をクリックします。

確認画面がポップアップ表示されます。

[OK] をクリックしてアップデートを開始します。

アップグレード後、製品は自動的に再起動します。

付録

仕様一覧

ハードウェア仕様		
サポート規格	LAN	IEEE802.3ab(1000BASE-T)/IEEE802.3u(100BASE-TX)/IEEE802.3(10BASE-T)
取得承認		VCCIクラスA
インタフェース	LAN ポート	RJ-45×1ポート
	ディスプレイ（ローカル出力ポート）	ミニD-Sub(15ピン)メス×1
	キーボード	PS/2 メス×1、USBシリーズAメス×1
	マウス	PS/2 メス×1、USBシリーズAメス×1
	USBポート	USBシリーズAメス×4(背面)
	音声入出力	Line-in:1、Line-out:1、Mic-in:1
ハードディスク容量		1TB
電源仕様（ACアダプタ）	定格入力電圧	AC100V(50/60Hz)
	定格入力電流	1.6A
最大消費電力		31W
環境条件	動作時	温度0～40℃／湿度35～90%(結露なきこと)
	保管時	温度－20～60℃／湿度5～95%(結露なきこと)
外形寸法		45(W)×215(D)×205(H)mm 本体のみ(突起部を含まず)
質量		1,440g 本体のみ(ハードディスク含む)

録画仕様	
対応ネットワークカメラ	CG-NC034A、CG-NC050A、CG-NCBO102ACS
対応チャンネル数	4ch(最大)
対応ビデオ解像度	5メガピクセル(最大)
画像圧縮方式	H.264/MPEG-4/MJPEG

PC動作環境	
対応OS	Windows 8/7(64bit/32bit)/Vista(32bit)/XP(32bit)
CPU	Intel Core i3プロセッサ以上
メモリ	4GB以上
ディスプレイ解像度	1920×1080 または 1366×768

保証と修理について

■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。

本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

・弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

・本商品の修理期間は、通常のコレガ製品の修理期間（10 営業日）よりお時間をいただきます。あらかじめご了承ください。

・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。

・「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。

・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。

・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格、修理受付期間などが記載されていますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本商品の使用に際し、いかなる理由であっても本商品内部、外部のデータの保証はいたしません。重要なデータはお客様の責任において、必ずほかのメディアにバックアップを行なってください。

本商品は、GNU General Public License Version 2 に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2 の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性および特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証もしません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU 一般公有使用許諾書（GNU General Public License)」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

■輸出管理と国外使用について

・お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。
・弊社販売製品は、日本国内仕様であり日本国外においては、製品保証および品質保証の対象外になり製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

2014 年 3 月 Rev.A

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

■商品に関するご質問は･･･

商品についてご不明な点がある場合はコレガホームページの「よくあるお問い合わせ」をご覧ください。また、「故障かな？」と思った場合には「故障確認フロー」もありますのでご利用ください。

○よくあるお問い合わせ

コレガホームページ TOP から「サポート情報」→「保証・サポート窓口」の順にクリックしてください。または、下記 URL にアクセスしてください。

http://corega.okbiz.okwave.jp/

○保証サポート窓口（故障確認フロー）

コレガホームページ TOP から「サポート情報」→「保証・サポート窓口」の順にクリックしてください。または、下記 URL にアクセスしてください。

http://corega.jp/support/inquiry/

「修理・故障について」の項目内に「故障確認フロー」があります。

解決されない場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL をご覧ください。

http://corega.okbiz.okwave.jp/

電話　045-476-6268

〈受付時間〉

10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00

祝・祭日を除く月～金曜日、ただし事前にコレガホームページで案内する指定休業日は除きます。

※ 本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※ サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。

This product is supported only in Japanese.

※ 電話が混み合っている場合は、メールサポートをご利用ください。

記載の内容は予告無く変更する場合があります。
最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。